



Q 外国人移住者、外国人労働者に対して町の取り組みを & 渡辺千恵 (文責)



A 第3期総合戦略の取り組みに 外国人対応の取り組みを掲げている まずは現状把握していく

質問

ゴミの捨て方などを始め、さまざまなトラブルもあると聞く。湯沢町で生活するためのルールなどを作り、移住の際に役場窓口や不動産業者とも連携してルールを伝えていくことが必要なのではないか。

答弁

ゴミの分別、病院、公施設などには多文化対応をしている。またルールや伝え方については今後検討していく。

質問

外国人労働者も増え、就労ビザをとって正規に働いている方もいれば、観光ビザなどで短期間働いている方もいる。北海道のニセコなどでは、無認可のインストラクターなどが増えていて問題になっている。湯沢町でも同じようなことが起こっている。外国人を雇用している会社などの組織を作り、スキー場、行政と一緒に、これらの課題を整備していく必要があると思うが。

答弁

行政が全てできるものではないが、町づくり機構が中心に、外国人労働者を雇用している方をまとめ、課題について取り組む。

質問

国が違えば生活習慣も違う。お互いに相手の文化・習慣を理解しつつ、湯沢に共生するには湯沢町のルールを理解し、協力してもらうことが大切である。

答弁

トラブルが少なく、住民に不安がなく、できるだけ内容をしっかりと考えていくことが必要ではないか。



にぎわうマルシェ

自主防災組織の強化と 総合訓練について

質問

町内ごとの自主防災組織があるはずだが、ほとんど機能していない。高齢者世帯、一人暮らしが増えている町である。今年の大雪などに對してもこの組織ができていれば、状況確認も早く、対応もできると考える。

答弁

町内ごとの自主防災組織があるはずだが、ほとんど機能していない。高齢者世帯、一人暮らしが増えている町である。今年の大雪などに對してもこの組織ができていれば、状況確認も早く、対応もできると考える。

答弁

今一度、自主防災組織の徹底をし、災害時に素早く情報を共有できる体制を考えていくべきではないか。

答弁

町内会長連絡会議で防災体制の再確認と、自主防災組織補助金を活用した防災活動の活性化をお願いした。また、未組織の町内会には組織の検討をお願いした。

質問

総合防災訓練を、町民や子



秋の消防演習